

事業者支援のためのDX基盤技術の構築

研究期間：令和5年度～7年度

目的

生産現場で環境測定データや機器から出力されるデータをデジタル化するに当たり、デジタル技術の導入効果がわからないという課題がある一方で、工場のIoT化への設備投資が増加しつつある。

本研究では、主に工場の機器から出力されるデータを収集・可視化でき、簡単かつ迅速に事前調査で活用できるキットを開発した。

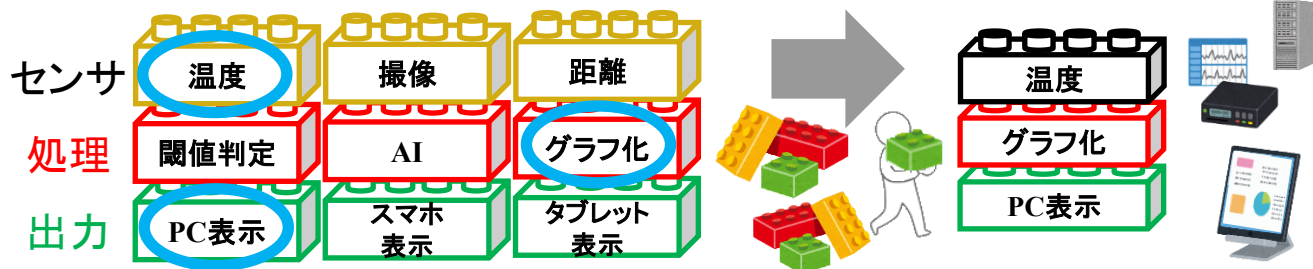
内容

ブロック間のデータの流れを時系列データベースに規格化したことにより、データの授受のプログラムを統一できた。

その結果、各ブロックで外部インターフェイスのみを変更すれば、新たなブロックの追加、削除及び入れ替えが可能な柔軟なシステムを構築できた。

必要な機能を細分化・簡略化して
総研で用意

センサ・処理・出力を組み合わせでお
試しシステムを構築



研究成果

計測データの取得から表示までの一連の処理工程を機能ごとに分けて多数のブロックを開発した。

例として、温度センサの事例について、計測データをリアルタイムでブラウザ表示できるシステムを構築した。



温度計測の実装（センサ）



室内の温度計測表示